

れいわ ねん かつ かほつこつ だい ごう ぶん かほっぴょうかいほうこくごう
令和4年11月10日発行 第8号(文化発表会報告号)

渋谷の荘だより

いま い みらい にな しぶちゅうせい
「今を生き 未来を担え 渋谷中生」

やまとしりつしぶやちゅうがっこう
大和市立渋谷中学校



ぎょうじ がくしゅう ぶかつどうとう とく なか じぶん こんきつよ つつ こと たいせつ
行事や学習、部活動等に取り組む中で、自分のできることを根気強く続ける事の大切さを
つた せいと じぶん よ き たか がっこう ささ おも
伝え、生徒が自分の良さに気づき高められるよう、学校では支えていきたいと思ひます。もう
きまつ がくしゅう ねっしん とく せいと すがた おお み
すぐ期末テスト。学習に熱心に取り組む生徒たちの姿が多く見られるようになってきました。



文化発表会を終えて

じっこういいんちょう お がさわら せい か
実行委員長：小笠原 静華



交わる旋律 溶け合う音色 渋谷SONG 2022

～(S)それはきっと (O)思い出の (N)中の大切な (G)ギフトになる～

『交わる旋律 溶け合う音色 渋谷SONG2022 それはきっと思い出の中の大切なギフトになる』このスローガンに見合う素晴らしい文化発表会が、10月21日に開催されました。この行事を終えて、私はみなさんへの感謝でいっぱいです。

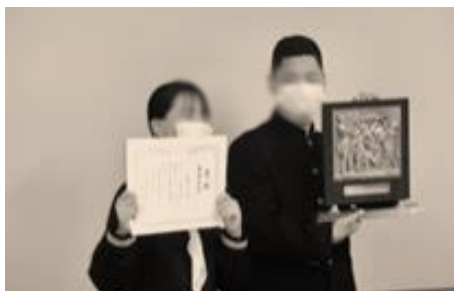
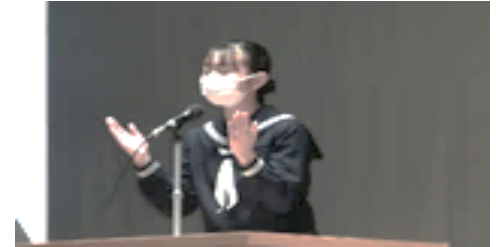
「私はこの瞬間のために頑張ってきたんだ。」これは自分のすべてを出し切り歌い終わった生徒たちやステージ発表で素晴らしいパフォーマンスを終えた生徒たち、興味津々に友達や先輩・後輩の作品を見ている生徒たちの顔を見たときに私が思ったことです。生徒だけではなく、職員にもその瞬間があったのではないのでしょうか。

準備の段階で、逃げ出したくなるときもあるでしょう。なぜこんなにも頑張らないといけないのか、と本気になれないときもあったはずですが、それらを乗り越えられたのは仲間との絆があったからだと思ひます。行事を通して、またクラス・学年・学校の絆が強く深いものになったことを感じました。

感染症の流行から、多くのことを我慢してきた生徒たちにとって、行事の復活はとてもうれしかったのではないのでしょうか。それは職員も同じです。生徒だけではなく教員も一体となって迎えた文化発表会は、きっと思い出の中の大切なギフトに



なったことでしょう。生徒のみなさんや保護者の皆様、支えてくれたすべての方に感謝を伝えたいと思います。ありがとうございました。



ステージ発表では、生徒会劇・クラス合唱・2・3年弁論・3年英語パフォーマンス・吹奏楽演奏を行いました。今年度は、3年保護者の方は武道場、1・2年保護者の方はアリーナでの映像参観となりました。午後は、展示発表を行いました、生徒たちの学習の成果を発表しました。また、PTAの皆様には、保護者受付手伝いと花の販売をお願いしました。学校評議員の皆様もご招待することができ、少しずつですが、コロナ前の体制に戻ってきました。



3年1組は、学校代表として大和市総合文化祭合唱の部に参加します。